

CHALLENGE21



第7・18合併号
定価 200円

チャレンジ21 / 2005年5月1日発行 / 第1巻第9号 / 発行：NPO法人 全国障害者福祉援護協会

在宅高齢者・障害者が安心して安全に外出できる外出支援事業部会を創設

高齢者・障害者の無料送迎サービス事業を展開

在宅における身体の不自由な高齢者・障害者の通院時や外出時の負担を少しでも軽減し安全に外出できるように、NPO法人全国障害者福祉援護協会は今年4月外出支援事業部会を創設し、外出時の支援を積極的に取り組んでいく「高齢者・障害者の無料送迎サービス事業」をスタートしました。

我が国では、21世紀に入りますます高齢化社会が進行し医療費の問題や体制、介護福祉環境の整備など社会福祉に関する課題が山積しています。中でも在宅の高齢者・障害者の通院や外出は体力的経済的に相当負担がかかり、現状では介護保険の内容や道路交通法との兼ね合いで十分な支援活動がなされていないのが実態のようです。



このような実情の中で当協会として外出時の負担を少しでも軽減し安全に外出できる

ようになるには何ができるか多面的に調査検討し、今年4月中国地区本部を拠点に「外出時の支援」を積極的に取り組む外出支援部会を創設し「高齢者・障害者の無料送迎サービス事業」をスタートしました。去る四月十日岡山駅前ホテルの会場にて各地区のヘルパーズセッションの代表が集まり、外出支援事業部会第一回総会が開かれました。

外出支援事業部会 第一回総会開催

寄与するものであると、述べていました。

当協会中国地区本部長であり外出支援部会会長でもある妹尾氏は今回の事業を推進するにあたり、長年高齢者に接してきた実績から蓄積したノウハウを元に、今後の抱負を熱く語って頂きました。また新規参入に際してのガイドラインや基礎教育など、そして事業を取り巻く様々な法律や今後の課題などを出席者と共に研修会を行いました。四時間にわたる総会はあつという間に過ぎ、このあと各地区の代表者同士で情報交換をしながらの懇親会で幕を閉じました。

役員紹介

NPO法人全国障害者福祉援護協会
理事長 永田 近



外出支援事業部会 会長

妹尾 基司 (中国地区本部長)



外出支援事業部会 副会長

西 貴義 (九州地区本部長)



外出支援事業部会 評議員

三瀬 寿一 (佐賀地区統括部長)



外出支援事業部会 評議員

小野 豊 (広島地区統括部長)



外出支援事業部会 評議員

光田 律子 (岡山地区統括部長)



外出支援事業部会 会員(平成十七年四月現在)

【中国地区】

- 岡山本部 ヘルパーステーション サウヴ
 - 西大寺支部 ヘルパーステーション あすなろ
 - 倉敷支部 ヘルパーステーション ヒューマンテ
 - 足守支部 あしもり ヘルパーステーション
 - 笠岡支部 ヘルパーステーション なぎさ
 - 福山支部 ヘルパーステーション つばき
 - 山陽町支部 ヘルパーステーション ヒトチカラ
- 【東海地区】
- 静岡支部 ヘルパーステーション おおばん

【九州地区】

- 鹿児島本部 ヘルパーステーション ポパイ
- 佐賀支部 ヘルパーステーション とんぼの里
- 佐賀支部 ヘルパーステーション あんじゅ
- 北九州支部 ヘルパーステーション あやび

お問い合わせ 連絡先

全国障害者福祉援護協会

中国地区本部

〒700-0936

岡山市富田8-3-1

☎0866-226-4330

外出支援部会長

妹尾 基司

外出支援部長についてのお問
い合せは中国地区本部へご連
絡ください。

「ひかり共済」視覚障害者 チャリティゴルフ大会in九州

第十回目となる恒例の視覚
障害者チャリティゴルフ大会は、
神奈川県から福岡県に会場を
移し福岡県支部と二人三脚で
平成十六年十一月二十九日に
開催いたしました。

今回は九州西日本新聞社・
西日本スポーツと当協会との
共同主催。メインスポンサー
の「ひかり共済」をはじめ福
岡県、福岡市、(財)日本盲導
犬協会、地元放送局など数多
くの企業・団体そしてボラン
ティアの皆さんの協力を頂き、
福岡県鞍手郡にある若宮ゴル
フクラブで行いました。

視覚障害のゴルファーを交
えての大会は九州地区では初
めてのこと。全国各地から百
二十六人が参加し、晴眼者の
多くは視覚障害者のプレイを
目の当たりにし、ハンディキ
ヤップを感じさせないシヨッ
トやパットに驚きの声を上げ
ていました。



大会実行委員長の忍田勉氏
(株)カンサイ代表取締役)は、
日頃障害者と接する機会の少
ない私たち健全者は街で困っ
ている障害者を見掛けてもど
う接していいか分からず横目
で見ているだけ、ということ
がしばしばありました。とこ
ろが今大会のように障害者と
健全者が一緒にゴルフをプレ
イするなど、お互いに接する
機会があれば、自然と手を差
し伸べるようになり、お互い
の間にある心の壁を少しでも
無くす手助けになるでしょう、
これは非常に喜ばしいことで
あり、ここに開催の大きな意



義があつた、と語っていました。
また今大会開催にあたって
地元九州で準備から開催当日
まで、何かと骨を折って頂い
た福岡県支部長の荒牧氏は、
ゴルフを通して障害者と健全
者が触れあい、感動を共有で
きたことはすばらしい経験と
なり、ノーマライゼーション
理念の普及を目指す多くの方々
の協力と支援によって大会を
成功させることができました。
次回開催も是非実現したいと、
思いを膨らませていました。

今大会で集められたチャリティ金は西日本新聞民生事業団を通じて(財)福岡盲導犬協会や視覚障害者支援のために寄附させて頂きました。

ありがとうございました。



神奈川県ブラインドゴルフパ
ートナー会、(株)ファミリ
ード若宮ゴルフクラブ、(株)
ンサイ、(株)徳進、(株)サクセス
ワン、スコーレ若宮



【協賛】

アサヒビール(株)、サッポロビ
ール(株)、(有)車寿司、ダンロップ、
(株)カンサイ、(株)和田、アビス
パ福岡、(株)テレビ西日本、(株)
ベスト電器、(株)サニー、ダイ
キン空調九州(株)、松下電器産
業(株)、(株)筑豊製作所、(財)サ
ニックススポーツ振興財団、
(株)備広、三菱重工空調システ
ム(株)、三菱電機住環境システ
ムズ(株)、松尾経営会計事務所、
(株)アリスネット、(株)エス・アイ

ご協力ご協賛いた
だいたみなさま

【後援】

福岡県、福岡市、(財)日本盲
導犬協会、(財)福岡盲導犬協
会、RKB毎日放送、テレビ
西日本、TVQ九州放送

【特別協力】
西日本新聞民政事業団

【協力】
日本視覚障害ゴルフアーズ協会



エス、(株)ジーエスピー、(有)キ
ューテック、(株)カーライフ、
(株)マックスエクスプレス、ア
イホン(株)、(株)黒木、テンパー
ル工業(株)、内外電機(株)、(株)ス
ペース、(株)ピー・アンド・ピー、
(有)サン企画、(株)竹中工務店、
(株)博愛メディカル、(株)さとう
ベネック、コクヨ九州販売(株)、
RKB毎日放送(株)、小泉産業(株)
(株)ニイウス、東陶機器(株)、(株)
和田、(株)グローバルイセンス
マスプロ電工(株)、(株)若楠電設
工業、(株)ヤナセ、朝日ビジネ
スコンサルティング(株)、(有)ウ
イングヤマグチ、(株)明光Vコ
ーポレーション、朝日火災海
上保険(株)

ありがとうございました

第四回神奈川県手話弁論大会開催

神奈川県聴覚障害者連盟との共同開催による「手話弁論大会」早いもので四回目を迎え八月二十九日横浜市開港記念会館で実施いたしました。聴覚障害者、健聴者のそれぞれの弁士が出場し、大勢の聴衆を前に熱弁をふるっていただきました。



は連盟の神武明さんとNHKの手話ニュースでおなじみの田中清さんのお二人。お二人の表情豊かな手話による進行は観客を楽しませ、弁士達の緊張を和らいでくれたのではないのでしょうか。



第三回目と同様、大正六年に建造された横浜市開港記念会館において神奈川県聴覚障害者連盟(神聴連)をはじめ横浜、川崎の各聴覚障害者協会、手話通訳者協会など多くの団体のご協力とご指導をいただき開催することができました。

「ろう者の部」四名「健聴者の部」六名が出場。十名の弁士が額に汗してちよつと緊張気味にそれぞれの思いや体験、主張などを熱く語って頂きました。司会を勤めて頂いたの

弁論大会が終了し審査委員長の野澤克哉氏(神聴連理事長)をはじめ九名の審査員による審査を行っている時間を利用して、会場では横浜市立聾学校の生徒さん達による和太鼓そして県立高浜高等学校手話コミュニケーション部による手話コーラスを披露して頂きました。

ステージを埋め尽くす生徒二十六名と大小様々の和太鼓。びたりと合った呼吸とリズム。力強く会場全体に轟かせる太鼓の響き。観客席から驚きの声。まさに見事圧巻でした。

歌と踊りと手話を交ぜた女子高校生達のコーラス。観客も誘われ一緒に唄い、楽しく会場内は明るい雰囲気になっていました。



このあとの表彰式では各社より提供いただいた賞品を副賞に発表者全員が受賞しました。



手話弁論大会受賞者

【ろう者の部】

- | | |
|------|-------|
| 最優秀賞 | 海老塚一浩 |
| 優秀賞 | 前野知子 |
| 敢闘賞 | 渡辺久美 |
| 奨励賞 | 藤田峰雄 |
- 【健聴者の部】
- | | |
|------|-------|
| 最優秀賞 | 中津真美 |
| 優秀賞 | 二見綾子 |
| 敢闘賞 | 大野陽子 |
| 奨励賞 | 前田真利奈 |
| 奨励賞 | 金子真弓 |
| 奨励賞 | 松本裕 |



【賞品をご提供いただいた皆様】

株式会社高島屋横浜店、株式会社東京信友、JFEステイール京浜労働組合、川崎地域連合、川崎労働福祉協議会、横浜市労働組合連盟、自治労横浜市従業員労働組合、横浜水道労働組合、N-TT労働組合神奈川総支部、横浜地域連合、連合神奈川、横浜交通労働組合

ありがとうございました。

今回最優秀賞を受賞されたお二人の発表内容を掲載させていただきます。

【ろう者の部 最優秀賞】

海老塚 一浩 (横浜市神奈川区)

「いつになっても夢を持ち続けよう」



●自分について

自分は生まれつきろう者。しかし、聾学校の経験はないに等しく、自分のアイデンティティを持つこともできなかった。それでも、高校時代は薬剤

師になりたいという夢を持っていた。しかし、法律の壁は厳しかった

●誘われるままろうあ運動へ
その前になんの考えもなく、運転免許を取得していたが、実際には『ろうあ運動』が多くの先輩によって支えられてきたということを知った。

●夢を持った友人について
自分の夢を信じて退職した矢先の死。でも彼も自分の夢を信じて、生きていた。そういった彼を前に、自分はなにができた(できる)のだろうか。

●聾学校や聴覚障害者協会青年部で見てきた現実

みんな夢を持っていて、夢を叶えようと努力できる社会であるか。実際にはみんなあきらめている面がある。それは本人だけの責任ではないだろう。我々にも責任はあるはずだ。

●若いうちに伝えたいこと
実際には、若いう者だけにではなく、ろう者全体に伝えていきたい。

それは、『自分ができなかったからと言って、あきらめることなく、後に続くろう者のために夢のある社会を残していこう』ということ。

【健聴者の部最優秀賞】

中津 真美 (横浜市都筑区)

「大切な言葉」



私の父は、耳が聴こえません。3才の時に、病気で聴力を失ったそうです。父の耳が聴こえないことで、私は人から「大変だね」とか「よく頑張っているね」などと声をかけられることも多かったのですが、父がろう者であることで私自身が苦労した経験はほとんどなく、まして人から誉められる類のものという意識もなく、私にとってそれはごく当たり前のことでした。

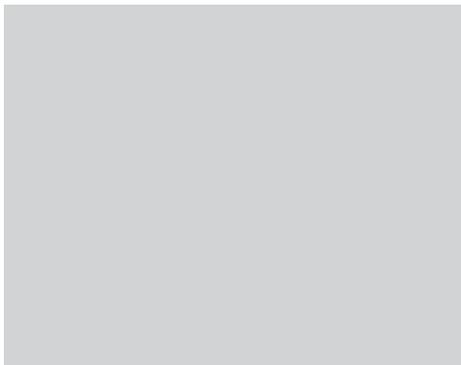
今では父に感謝しています。なぜなら、父のおかげで私は、父の日常の言語でもある「手話」を知ることができました。また「手話」を通して、たくさんの仲間と出会うことができました。

手話は、小さな頃から私の傍にいつもあった、私の家族を繋いできた大切な言葉です。これからも、私とたくさん人の心をかよわせてくれるであろう手話を、ずっと大切に使い続けていきたい、と思います。

ボランティア活動報告

障害者の介助・イベント運営のスタッフとして登録要員の皆様と活動を行っております

鳴沢村バードウォッチング一泊二日
平成十六年五月二十二日～二十三日



視覚障害者と行くバスの旅。出発の朝不安な面持ちで集合したボランティアの皆さん。今回協力していたいただいた皆さんは泊りがけの介助は初めてのこと。バスの中では寝る時のことや夜中のことなどいろいろと質問がありました。が、「特別なことは何も無いよ、いつものどおりだよ」「大丈夫、大丈夫」と何人かの励ましの声を掛けられ、気持ちも楽になったのか、不安な様子は消え皆さんと談笑しながら一路山梨へ向かいました。

最初に着いたところは田貫湖。ウグイスの鳴き声を聞きながら湖畔を散策し、次に青木ヶ原樹海に向かいました。樹海の中に入らないよう列を組み、緑香る森に囲まれた遊歩道を進みながらおいしい空気を吸い森林浴を楽しみました。宿泊地では夕食後カラオケ大会がはじまり、お酒の勢いも借りて大いに盛り上がりました。この時ボランティアの皆さんが一斉に驚いたことは、視覚障害者の方達は点字の歌詞カードを持参してきていて、それを指でなぞりながら上手に唄っていたことです。翌朝は五時起ききのバードウォッチング。昨晩の楽しいお酒で少々疲れたのか集まったのは半数の二十数名。眠い目をこすりながら、現地のガイドさんの説明と共に宿の周りで野鳥の美しい声を聞いてきました。かっこうやホトトギス、ふくろうなど都会ではあまり聞くことのできなくなった数え切れないほどのたくさんの鳥たちのにぎやかな声。「早起きは三文の徳」を全員で享受してきました。



朝食後、オルゴールの森でバイオリンの音色を楽しみ、ワインセラーの試飲でほろ酔い気分になり、名物ほうとうの昼食に舌鼓を打ち、満足満足気分一路横浜へ無事到着。初めての二泊二日のボランティア活動。視覚障害の皆さんと一緒に大いに楽しんできました。

市長杯盲人ボウリング大会 平成十六年六月六日

恒例となった盲人ボウリング大会。前回と同様に近視協(社団法人横浜視覚障害者福祉協会)との共同で新横浜プリンスホテルボウリングセンターで開催しました。参加者は視覚障害者30名。2ゲームをしてみました。

ぞうの国&養老溪谷 平成十六年十月二十四日



視覚障害の皆さんと千葉縣市原市にある「ぞうの国」へ行ってきました。ここは小さな動物園といったところですが、他の動物園とは違いぞうに直接触れることができるのです。視覚障害者の中にはぞうをほとんど見たこともなければ、大きさも想像でしか考えられない方もいますので、親切な係員の誘導で長い鼻に直接触れたり背中に乗ることができるとも喜ばしいことだと思えます。ぞうに触れショーを見ただ後は同じ市原市内にある養老溪谷の自然に触れてきました。

第二十一回横浜市身体障害者運動会 平成十六年十月十七日

横浜ラポールグラウンドで行

われた身体障害者運動会。今回もJFEスチール京浜労働組合とNTT労組神奈川総支部から多くのボランティアを派遣していただき、深く感謝申し上げます。運営スタッフとしてまた障害者の介助役として、また競技にも参加し一日お疲れ様でした。ありがとうございました。



我孫子市鳥の博物館と入浴 平成十七年三月六日

黒田さんと婚約された紀宮さまが非常勤研究員として勤務されている千葉県我孫子市の山階鳥類研究所。その敷地内にあるのが我孫子市鳥の博物館。ここも視覚障害者にとってはありがたい、鳥に触れることのできる数少ない博物館です。剥製だけでなく鳴など数種類の鳥に触れることができる。事務員の親切な説明を聞きながら実際に触れ想

横濱高島屋の手話教室。三十人の従業員を対象に五月と十月に実施。この時期に年二回定期的に実施してから早六年になります。いつも熱心に受講されている皆さんは上達も早く、店内では「手話見習い中」の札を胸に付けて聴覚

高島屋手話教室



像していた大きさの違いに驚き、羽の柔らかい感触を味わい、鳥の習性、タンカーの転覆で油まみれになるなどのさまざま鳥たちの被害、そして世界中の珍しい鳥を知り、皆さん満足されたようです。
博物館を後に千葉県ユークアが丘にある最近流行りの大きな大きなお風呂屋さんアクアユーカーで昼食をとり、泡風呂、薬草風呂など様々なお風呂に入り、身体を温めてきました。

何かお困りですか



手のひらを相手に向けて、人差し指を立て、軽く左右に振る



指先を全て集めるようにして、その手をこめかみに当て、軽く左右に動かす。(困って頭をかいているしぐさ)



右手を広げて上に向け、少し下げる

障害者との接客に意欲的に対応しているとのこと。
全ての売場やコーナーに手話のできる従業員がいるわけではないので、時には他の売場からお呼びが掛かり、急いで駆けつけ接客する、ということがあるようです。
今まで何人かの聴覚障害の先生が講師として皆さんを教えてきましたが、ある先生は高島屋へ買い物に行った時、店内で受講生を見つけたあえて難しい事を聞いたりして、受講生をちょっと困らしたこともあったと、笑いながら語っていました。
高島屋の担当者は従業員の教育の一貫として、今後も定期的に続けていきたいとお話されていました。



こうした状況を是正すべく福祉車両の導入を検討していた折に、当協会の取り組みが日本財団に評価され、車椅子を使用したままで乗車できる「車椅子対応車」を頂くことができました。
「車椅子対応車」を所有したことにより車椅子での移動希

日本財団より「車椅子対応車両」の寄付を頂きました

当協会は障害者、高齢者の方々の通院などに移送サービスのボランティア活動を行っているのですが「車椅子対応車」を所有して欲しい為に、車椅子での移動希望者にはお断りせざるを得ない状況にありました。
当協会はこうしたした日本財団のご厚志を大切にしながら、これからも障害者、高齢者方々へのボランティア活動に邁進して行きたいと考えています。



応援しよう！個性が輝く「ひと・まち・くらしづくり」

ろうきん NPOサポーターズ

「ろうきんNPOサポーターズ」は、いきいきとした個性豊かな「ひと・まち・くらし」づくりに取り組むNPO（民間非営利組織）の支援・促進を目的とする社会貢献定期です。

■「ろうきんNPOサポーターズ」のしくみ



制度内容

お預け入れ商品	スーパー定期、スーパー定期300、大口定期預金
お預け入れ金額	1万円以上、1円単位（個人・団体とも）
お預け入れ期間	1年、自動継続方式（元金継続・元利継続）
利	店頭表示金利
寄 付 金	1年後の満期日に、利息（税引後）の30%が、日本NPOセンター（※）が運営協力する「ろうきんNPOサポーターズ基金」に振り込まれます。
寄付金の活用方法	「ろうきんNPOサポーターズ基金」に積立てられたみなさまの寄付金と、「中央ろうきん社会貢献基金」からの拠出金の合計を財源とし、年1回NPOに対する助成をおこないます。
お取り扱い期間	2002年4月1日～2006年3月31日 （預入終了日：2005年3月31日）

※日本NPOセンターは、NPOの活動基盤の強化等を目的に96年に設立した中間支援組織です。



「ろうきんNPOサポーターズ」は、「ろうきんNPOポイント貯めCiao!」の対象商品です。詳しくは、お取引のろうきんへお問い合わせください。

ホームページはこちら
http://chuo.rokin.com
ローン・クレジットサービス
ローン相談受付サービス実施中

詳しいお問い合わせは

フリーダイヤル 0120-86-6956
ハロー（ろうきん）コール
月～金曜日AM9:00～PM5:00
（土日祝祭日休）

あなたの暮らしのまん中に
中央労働金庫
http://chuo.rokin.com

「ひかり共済」「エコ共済」 全国福祉共済会

「ひかり共済」「エコ共済」は全国福祉共済会が管理運営している共済制度です。特典としては葬儀の無料提供、在宅介護への支援、自動車事故傷害への補償、車反則金の支払いなどとなっています。当協会は（全国福祉共済会）から仕事を受注しておりそれらの一部は障害者に委託し障害者の自立に寄与しています。さらには、（全国福祉共済会）は共済の売り上げから財団法人・日本盲導犬協会、福祉法人・日本盲人会連合、NPO法人・子供を交通事故から守る会、NPO法人・全国障害者福祉援護協会、NPO法人・日本地雷処理を支援する会、NPO法人・世界写真展などの団体に寄付しています。こうした社会貢献を高く評価し、当協会では（全国福祉共済会）の共済制度への加入について全面的に協力をしています。

お問い合わせ先

全国福祉共済会

横浜市中区羽衣町3-63
TEL045-2250-0298



社会貢献型・自動販売機の設置にご協力ください。

多くの人達がボランティア活動に参加してみたいとの希望を持っていても実際に参加した人は約10%位だといわれています。

こうした多くの人達の希望を自動販売機を使って叶えることができたらとの思いで特定非営利活動法人（NPO法人）ジャパン・カインドネス協会は「ゆび募金」活動を推進しています。現在、全国に約200万台の自動販売機が設置されています。その内の何%かが社会貢献型の自動販売機になったら清涼飲料水を購入することで誰でも「ゆび募金」活動を通じてボランティア活動に参加できることとなります。

お問い合わせ先

ジャパンカインドネス協会

TEL041-571-2333

この潤いが小さな社会貢献へ



ご協力ありがとうございます。 今後ともご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

このコーナーでは当協会の法人会員を順次ご紹介します。

(株) HOT	さくら企画 (株)	(有) 藤間企画
JFEエンジニアリング鶴見本社労働組合	(株) シガドライセンター	ブリヂストン労働組合
JFEスチール労働組合連合会	(有) 湘南百貨店三島店	平和交通 (株)
JFEスチール (株)	鈴江コーポレーション (株)	ヘルパーステーション サーヴ
JFEスチール福山労働組合	住友重機械労働組合連合会	ヘルパーステーションあんじゅ
JFEスチール本社労働組合	全国グリーン共済会	丸全昭和運輸労働組合
JFEスチール京浜労働組合	全日産・一般業種労働組合連合会	三井造船労働組合連合会
JFE物流 (株)	全労済神奈川本部	三菱重工労働組合
JFEプラント&サービス (株)	総合商社マルチュウ (株)	(株) メイクスライヴ
あしもりホームヘルパーステーション	(株) 創士社	メディックエムエム (株)
(有) あすなる	中央労働金庫	(株) 有徳社
石川島播磨重工労働組合	(有) つばさ	(有) ユニックス
(株) 伊藤ビル	(有) つばめ	(株) リアルエステート・エイジェンシー
(株) エイセキ	東京電力労働組合神奈川総支部	(有) レイルズ
NTT労組神奈川総支部	東邦薬品 (株)	日本労働組合総連合会神奈川県連合会
(有) 笑日寿	(株) 富世	
(株) 大熊整美堂	トヨタ自動車労働組合	
(有) 大番	日本基幹産業労働組合連合会	
鬼鞍運送 (有)	日本基幹産業労働組合連合会 神奈川本部	
(株) かさい	のぞみ企画 (脱会 2005/04/04)	
川崎交通労働組合	(有) 博善	
(有) きすな	(有) ピーチ・ケア	
麒麟ビール労働組合	(有) ビックブレーン	
(有) グローバルインフォメーション	日の丸交通 (株)	
交通労連関東地方総支部	(有) ファーストライフ	
興南設計 (株)	不二交通 (株)	
(株) サクセスワン	富士交通 (有)	



NPO法人 全国障害者福祉援護協会では会員を募集しております

CHALLENGE21 第17・18合併号

発行者: NPO 法人 全国障害者福祉援護協会
 編集人: 永田 近
 発行日: 2005年5月1日 第17・18合併号
 所在地: 〒221-0835
 横浜市神奈川区鶴屋町 2-22-3 伊藤ビル
 TEL.045-411-0294 FAX.045-411-0295
 定 価: 200円

法人会員 1口
5,000円/月
個人会員 1口
1,200円/月



指定の「加入申込書」で当協会にお申込ください。
 お問い合わせは「全国障害者福祉援護協会」事務局まで

TEL:045-411-0294
 ヨイヒトワフクシ

● 編集後記 ●

日本プロ野球史上初となるセ・パ交流戦がいよいよ始まった。メジャーリーグに圧され気味の日本のプロ野球界が活気づき視聴率、観客動員数もかなり上昇したようだ。

5月6日～6月16日の期間に216試合も行われ各リーグの公式戦となる。いつも遅れてしまうチャレンジ21。交流戦が終了する前には発行したいと今回もまた反省。 T.S.